

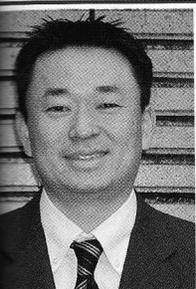
税理士

どんなに簡単なテストでも本番と同じテンションで受ける

山本憲明さんは、電機メーカーで働きながら4回の受験で税理士資格を取得した。1999年の秋から資格スクールの税理士講座を受講。簿記論と財務諸表論の2科目に合格した2000年には営業から経理部へ異動し、財務諸表の作成や税務申告といった実務に当たった。「上司が理解のある人で、週に2〜3日は定時に退社し勉強できました」

税理士試験には3科目の選択科目がある。独立を目指していた山本さんは、実務での重要度を考え法人税、消費税、相続税を選択した。税法科目を突破するカギは理論暗記術にある。膨大な法律文章を丸暗記するのに、書いて覚えていたので手が痛くなってしまう。山本さん

●2003年合格(2000年簿記論・財務諸表論、02年法人税法、03年消費税法、相続税法に合格、学習方法/資格スクール通学講座、合格までの費用/約90万円)



憲明税理士事務所
本憲明さん(34歳)

私の合格特効薬

★法人税法の学習に役立つサイト

01年は法人税法と消費税法の2科目を受験するも、科目合格ナンだった山本さん。法人税法はボリュームが多く、1年目は答案のまとめ方のコツがつかめなかったという。そこで役立つのが「法人の勉強部屋(<http://www.houjinzei.com/>)」というサイト。メールで質問できるほか、試験当日には最終確認事項のメールが届くサービスも。

山本さんは税理士試験の勉強法を書いたメルマガを配信しています。ホームページのアドレスは<http://www.rakuzei.com/>

合格率

(03年度)
簿記論
20.7%
受験者数
28,486人

財務諸表論
20.4%
受験者数
19,855人

法人税法
11.4%
受験者数
8,668人

所得税法
12.1%
受験者数
3,221人

消費税法
10.1%
受験者数
10,713人

相続税法
11.5%
受験者数
5,042人

※このほか選択科目には酒税法、国税徴収法、住民税、事業税、固定資産税があるが受験者数は少ない。

実務に役立つ科目を選んだ方が結果的にはうまくいく

木下須美子さんは大学2年生の時に大原簿記学校に通い始め、大学卒業後1年半アルバイトをしながら受験勉強に専念し、税理士資格を取得した。「修士の学位などで試験科目が免除になる制度があるので、大学院進学も考えました。でも、5科目すべてに試験で合格してないと就職には不利のようです。受験に専念する道を選んでよかったと思います」

受験勉強は実務とは違うといわれる。しかし、木下さんは税理士の勉強をしてみても「最も効率的に知識を身につけられる手段」と実感したという。「私は法人税法は受験しませんでした。疑問点は後に残さないのがスピード合格のコツのようだ。」

●2003年合格(2000年簿記論、01年財務諸表論、02年所得税法、03年消費税法、固定資産税法合格)、学習方法/資格スクール通学講座、合格までの費用/約90万円



事務所
下須美子さん

私の合格特効薬

★資格スクールの仲間たち

木下さんが通ったスクールは先生が親みやすく、生徒との飲み会を企画してやることもあったそう。そうした場での仲間たちが受験勉強の励みになった。同じ目標を持った受講生は、情報交換できるし、競争心も芽生えます。受験勉強に専念していた木下さんにとって勉強仲間がモチベーションを維持するためにも、いい刺激になったようだ。

要。所得税法と重なる部分も多いのですが、私はスクールで法人税法を一通り勉強しました。でも、合格という目標のない勉強はテンションを保つのが大変です。資格さえ取ればいいとボリュームの少ない科目ばかりを選びたくなる気持ちも分かるが、「やはり実務で役立つ科目を選ぶのが賢明だと思います」と木下さんは振り返る。

勉強で役立ったのが、模試などで間違った箇所をまとめたノート。「ケアレスミスも同じようなことを繰り返してしまうもの。そういった小さなミスも必ずノートにまとめ、常に持ち歩いて読んでいました。同じ間違いを繰り返さなければ自然と点数は上がっていきますよ」

講師 アドバイス

覚えるしかない状況を作り出す工夫を

大原簿記学校東京校 税理士科教務部
法人税法担当 水上明さん



Q. 選択科目の選び方は?

理論と計算の比重、学習ボリューム、実務での重要度など試験科目にはそれぞれ特徴があります。目指す税理士像によっても選ぶべき科目は違うので、スクールのスタッフや先輩税理士などに相談するといいでしょう。

Q. 暗記のコツはありますか?

だらだらやらずに短時間で集中すること。そして、覚

えるしかない状況をつくり出すことが大切です。例えば、3駅しか電車に乗らない時でも覚えられなければ終点まで行く覚悟で覚えてしまうのです。税法科目は1字1句正確に暗記する必要がありますので、「～できる」「～しなければならない」など、語尾の違いが視覚的に覚えられるようマーカーで色分けするのも有効です。

Q. 合格までの勉強スケジュールは?

9月～12月に基礎力をつけて、1月から実践力を磨くのが理想ですが、1月から勉強してもポイントを絞れば合格は十分狙えます。法人税法では9月開講、10月開講、11月開講のクラスがありますが、各開講での合格率にほとんど差はありません。

試験の概要

受験日程>例年7月下旬から8月上旬
平日3日間
試験科目>必須科目(会計2科目)
簿記論、財務諸表論 選択科目(税法)
科目から3科目を選択)＝所得税法、
法人税法(いずれか1科目は必ず選択)、
消費税法、消費税法または酒税法、国税
徴収法、住民税または事業税、固定資産

その他>1科目ずつ受験可能。5科目
合格後、税理士登録には2年間の実務経
験が必要。(実務経験は合格前でも後で
可)

問い合わせ先>国税庁内国税審議会税
二分会 <http://www.nta.go.jp/>